



北星中文化祭交流

中学部では、9月17日（木）にお隣の北星中学校と手話歌による交流を行いました。

目的は、「共感しあう感情と共に、他を尊重し、認め合う生徒の育成を目指す。」「経験を広め、社会性を養い、望ましい人間関係を育てる。」の二つです。

この手話歌交流は長く続いている大切な交流の一つです。コロナ禍の際には、これまで長年続けてきた全校生徒が手話表現を練習して文化祭に参加する形が途絶えましたが、昨年度から復活しました。



旭川聾学校サポーターズに参加してくれている方の中には、御自身のお子さんが北星中学校の卒業生であり、北星中と聾学校が手話歌で交流していることにとっても共感してくださっている方がいらっしゃいました。その方に、全校での手話歌交流が復活したとお伝えしたところ、大変喜んでくださっていたのが印象的で、私も嬉しくなりました。

この交流は、本校と北星中学校のすばらしい歴史だと感じています。長年積み重ねてきた歴史があり、お互いにできることをやってみようとする生徒たちや先生方がいたからこそできるようになった交流だと思います。これからも大切にしていきたい活動です。

当然、今年も全校生徒による手話付きの歌を歌う場面がありました。

私は、当日、体育館でのその場面には立ち会えませんでした。写真と動画を取ってもらえたので見る事ができました。

この場面は、当然のようにやっていますが、当然ではない貴重で価値のある活動だと思っています。

北星中学校の生徒会の皆さん、北星中学校の校長先生をはじめとする先生方、そして、地域でその活動を見守ってくださっている皆様に感謝いたします。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。